

有限会社山形工房

『日本一』の競技用けん玉による 地元名産品の確立と世界けん玉市場拡大

2020年、東京オリンピックに向けて
メイドイン山形のけん玉で日本の文化を波及

事業の背景・目的

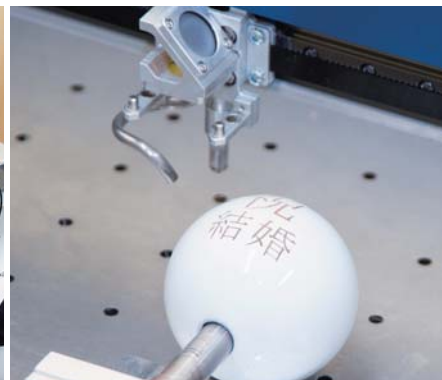
当社は、日本けん玉協会認定の競技用けん玉生産「日本一」に認定されている。従来の競技用けん玉は、玉の部分の色が赤、青、緑、黒といったものが主流であった。近年、海外でけん玉文化が普及するにあたり、そのブームの中心となっているのが、海外のストリート系の若者であることから、要素として「おしゃれなけん玉」というのが必須になっている。また、技が決まりやすくなるように加工したけん玉のように、機能性を求められるようになってい

る。海外での若者から幅広い年代層にまで広がっているブームが、インターネットの動画サイト等をきっかけに、日本でも再びブームが訪れ、これまでの子供の玩具的な位置づけから、日本においてもファッション性、機能性のニーズが高まっている。今後、さらに飛躍するポイントとして、けん玉の塗装、加飾の技術で海外製品との差別化を図り、技術の進化と顧客ニーズのスピード化のために試作開発・設備投資を行った。

事業内容

競技用けん玉生産量日本一の当社は、生産の高度化を図るため、新技術である全面転写技術、微細なレーザー加工技術、最強強度の塗装技術を可能にするために、対応機種を導入した。これまでは、大半が競技用けん玉であったが、最近のブー

ムにより、お客様からのニーズが多様化しており、さまざまな業界のオリジナル製品として、幅広いニーズに即座に応えられるという、木製玩具業界にとって類をみない革新的な仕組みを構築する。



機種導入で微細なレーザー加工が可能になる。

DATA

有限会社山形工房

日本けん玉協会認定の競技用けん玉生産「日本一」の工場。

事業内容は、日本けん玉協会公認の競技用けん玉の製造、美術工芸品の製造・販売、木地玩具及び民芸品の製造・販売。



代表取締役社長
梅津 雄治

住 所
長井市寺泉6493-2

電 話
0238-84-6062

FAX
0238-84-6061

e-mail
info@kendama.co.jp

設立年
昭和48年10月

資本金
800万円

従業員
13名

事業の成果

若者に人気のセレクトショップ、ビームス、J R、雑貨・子供服を扱うブランド店等、さまざまな企業とのコラボ商品の要望に対して、多品種少ロット対応が可能な仕組みを構築できた。

競技用けん玉においては、さらに

強度を増す塗装が可能になった。乾燥も早く、光沢も増し、生産性も向上している。また、全面転写、レーザー加工においては、競技用けん玉の機能性だけでなく、ファッション性、オリジナル性においても、即座に対応できる体制が整った。



さまざまな企業とのコラボ商品、複雑な要求にも多品種少ロットでの対応が可能になった。

今後の展望

現在、けん玉の生産地が中国、ベトナム、台湾等、各地で製造されているが、メイドインジャパンにこだわり、尚且、当社にしかできない技術でメイドインヤマガタを世界に打ち出していく。また、すでに実績として、レーザー加工技術を活用し、山形新幹線つばさの「とれいゆ つば

さ」の文字や山形のさくらんぼのデザインを入れる等により、子供たちが誇りに思ってもらえる名産品作りをしていく。

また、地元でけん玉塾を開催したり、ギネス記録に若者の団体といっしょに挑戦する等、町おこしの一環、観光客誘致にも結びつけていきたい。